平成２５年１２月
日本学術会議選考委員会

日本学術会議会員及び連携会員各位

日本学術会議会員候補者及び連携会員候補者の推薦依頼書

日本学術会議の運営に関する内規第６条に基づき、次のとおり、会員候補者及び連携会員候補者（平成２６年１０月１日発令）（任期６年）の推薦を求めます。

また、会員及び連携会員は、会員候補者及び連携会員候補者のどちらの候補者も推薦することができます。

１　推薦の対象

会員及び連携会員としてふさわしい「優れた研究又は業績がある科学者」を推薦してください。

⇒今回の推薦・選考の全体像は、別紙１（P 5）をご覧ください。

⇒推薦に当たっての留意点は、別紙２（P 7）をご覧ください。

また、以下の制限条件がありますので、ご注意ください。

① 会員候補者は、６年の任期を務められる者（発令時に６４歳未満（昭和２５年１０月２日生まれ以降）の者）が望ましいが、原則として、少なくとも１期（３年）以上在任できる者（発令時に６７歳未満（昭和２２年１０月２日生まれ以降）の者）を対象とすること。

② 会員候補者及び連携会員候補者は、いずれも日本国籍を有する者であること。

なお、現会員及び現連携会員は、別紙３（P 11）のとおり自動的に選考の対象となりますので、推薦の必要はありません。ただし、現特任連携会員は、推薦されない限り選考の対象になりません。

２　推薦の方法

幹事会が定める推薦書（別紙４（P 13））により、５及び６の方法にしたがって推薦を行ってください。

なお、以下の点にご留意ください。

① 推薦書は、「推薦者ご自身が記入していただく項目」と「候補者に依頼して記入していただく項目」（以下「候補者情報項目」という。）に分かれています。

② 推薦書は、会員候補者の推薦であっても、連携会員候補者の推薦であっても、共通です。

③ 会員候補者又は連携会員候補者のどちらの候補者として推薦するかについては、推薦書に所定の欄がありますので、区分してください。

なお、会員候補者として推薦された者は、同時に連携会員候補者として推薦された者とみなすこととなります。

３　推薦可能人数

１人の会員又は連携会員が推薦できる人数は、会員候補者及び連携会員候補者を合わせて５名までとし、このうち会員候補者は２名までとします。

この場合、幅広く多様な候補者の構成になるよう、女性研究者、若手研究者※、地方在住者、産業界・実務家の属性に配慮してください。

なお、候補者１名に対し複数の推薦があっても、選考過程において差異はありません。

※就任時に 40 歳未満の研究者

４　推薦書の入手

推薦書は、次の日本学術会議のホームページからダウンロードしてください。

http://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/senko/index.html

５　推薦書の提出方法及び期間

推薦するすべての候補者の推薦書は、平成２６年１月２８日（火）までに作成してください。なお、推薦書は候補者ごとに作成し、各々異なるファイル名を付けてください（詳しくは、別紙４（P 15）をご覧ください）。

その上で、指定したメール通信サービスを利用して、１月２９日（水）１３時から２月２日（日）２４時までに事務局に送信してください。期限を過ぎると利用できなくなりますので、ご注意ください。

なお、上記期間内に送信できなかった場合は、２月７日（金）までに事務局にご連絡ください。

また、パソコンをお持ちでない場合や指定の方法により難い場合も、事務局にご連絡ください。

⇒推薦書の提出方法は、別紙５（P 27）をご覧ください。

６　推薦の流れ

イ　候補者を選定する。

↓

ロ　候補者本人に対し、会員又は連携会員への就任意思を確認する。

※選出時の就任意思を確認する際の説明事項（別紙６）参照

↓

ハ　候補者本人に対し、推薦書を送付し、候補者情報項目の記入を依頼する。

※推薦書は、日本学術会議ホームページからダウンロードする。

↓

ニ　記入を終えた推薦書を受領し、推薦者自らが記入する項目を書き込んで、推薦書の作成を完了させる。

1月28日までに完了させる

↓

ホ　推薦書を事務局に送信する。　（1 月 29 日（水）から 2 月 2 日（日）までの間）

⇒選出時の就任意思を確認する際の説明事項は、別紙６（P 37）をご覧ください。

７　推薦後の選考等の流れ

平成２６年２月７日	（最終）推薦締切
２月～４月	選考委員会分科会による選考
４月～６月	選考委員会による調整の後、会員候補者名簿及び連携会員候補者名簿を幹事会へ提出
６月～７月	幹事会による審議の後、会員候補者名簿の総会への付議決定及び連携会員候補者の決定
７月	臨時総会による会員候補者の承認
以降	人事上の諸手続
１０月１日	発令（予定）

８　個人情報の保護について

提出される推薦書は、個人情報ですので、その取扱いには十分注意してください。

選考委員会としては、個人情報の管理について厳正に取り扱うこととし、候補者推薦に係る情報は、選考実務の遂行、任命手続及び役割検討の目的以外の用途に使用することはありません。

⇒候補者推薦に係る情報の取扱いは、別紙７（P 39）をご覧ください。

９　その他

①　今回の改選においても、日本学術会議会則第３５条第４項の規定に基づき協力学術研究団体に対し会員又は連携会員の候補者に関する情報提供を、この推薦手続とは別に並行して求めております。

これは、選考委員会における審議の参考情報として用いるものであって、協力学術研究団体から直接推薦を求めるものではありませんので、ご注意ください。

⇒協力学術研究団体からの候補者情報の提供については、別紙８（P 41）をご覧ください。

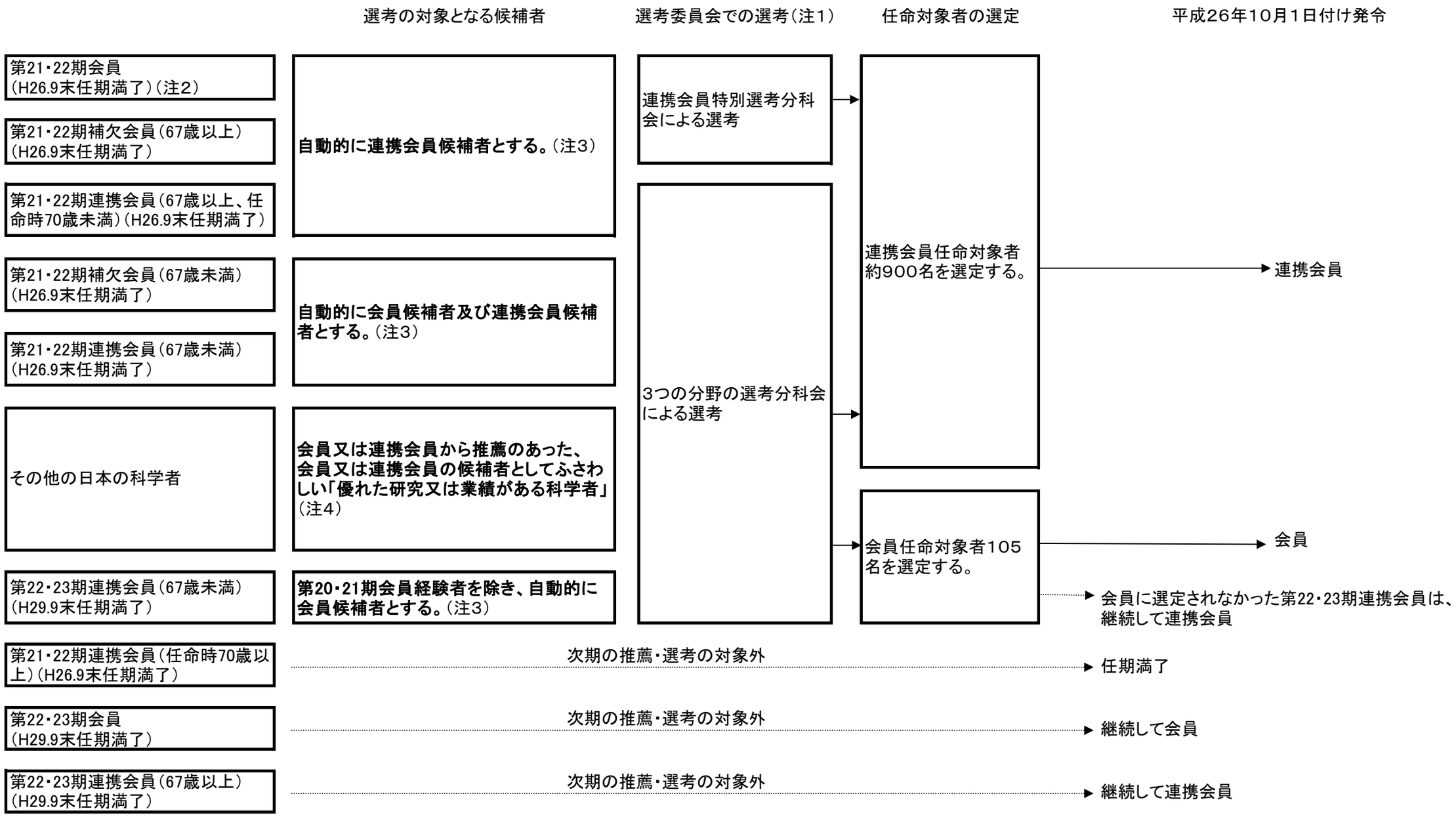
②　候補者の推薦については、「会員候補者及び連携会員候補者の推薦に当たっての質疑応答集」（http://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/senko/index.html）を作成しましたので、ご参考にしてください。

担当：日本学術会議事務局企画課選考担当

電話：03－3403－1081
E-mail： as258@scj.go.jp

平成26年10月の改選における会員・連携会員候補者の推薦・選考について

別紙1



※　年齢は、平成26年10月1日現在。
任命時70歳未満（70歳以上）とは、第21期に任命された時点の年齢を示す。

（注1）　協力学術研究団体から提供された情報は、審議の参考情報とする。
（注2）　第22期内に定年になる者を含む。
（注3）　本人に候補者となる意思確認と現在の本人情報を求める。
（注4）　推薦書に、会員又は連携会員のどちらの候補者として推薦するかを記入する。
会員の候補者として推薦された者は、連携会員の候補者としても推薦された者とみなす。

別紙２

会員候補者及び連携会員候補者の推薦に当たっての留意点

日本学術会議会員候補者及び連携会員候補者の推薦に当たっては、科学者コミュニティの代表として日本学術会議が持つ諸機能並びに会員及び連携会員の使命及び役割を踏まえ、科学者としての見識と判断に基づいて推薦を行ってください。

なお、新分野からの選出や多様な構成員（男女共同参画の推進、若手研究者、地域活性化の視点、産業界・実務家からの選出）になるよう配慮してください。

１　基本的認識

会員及び連携会員は、日本学術会議憲章（平成２０年４月８日発出日本学術会議声明）に定める義務と責任を自律的に遵守することが求められている。

http://www.scj.go.jp/ja/scj/charter.pdf

２　日本学術会議が持つ諸機能

ア　政府・社会に対する提言

政府や社会に対して、科学者としての専門的、複眼的、俯瞰的かつ信頼性のある勧告・提言等を行うこと。

イ　国際的な活動

地球規模の課題に対して、各国の科学者と連携して、科学的知見に基づく政策提言を戦略的に発出するなど、国際的な学術団体の活動へ積極的に参画貢献し、我が国を代表して科学者の国際協力体制を構築すること。

ウ　科学リテラシーの普及・啓発

日本学術会議会員及び連携会員自らが先頭に立って科学の魅力について語り、国民、特に青少年の科学力増進に寄与すること。

エ　科学者間ネットワークの構築

科学者間交流を推進し、科学者コミュニティ内の連携・協力体制を強化することにより緊密な科学者間ネットワークの構築を図ること。

３　会員及び連携会員の使命及び役割

ア　日本学術会議に期待される諸機能を果たす必要があること。

イ　学術の最新の動向に精通した科学者を中心に、学術に関する優れた研究・業績を有し、かつ日本学術会議の使命と役割を十分理解している必要があること。

ウ　自身の学問領域にかかわらず、総合的・俯瞰的視点に立脚し、かつ学術の将来動向等も含めた幅広い識見によって日本学術会議の委員会審議などの諸活動を積極的に行う必要があること。

４　会員及び連携会員の位置付け

別表のとおり。

会員と連携会員の位置付け

別紙２－別表

種別 （根拠規定）	役割等	選考・任命等	任　　期	再任の制限	定年	会員・連携会員候補者の推薦	備考 （位置付け）
会員 （法第７条）	日本学術会議（＝総会）を組織。（法第７条第１項） 部に所属。（法第１１条第４項） 幹事会は会長・副会長・各部の役員で構成。（法第１４条第２項） 会長は会員の互選。（法第８条第２項） 副会長は、会員のうちから、総会の同意を得て会長が指名。（法第８条第３項）	会員又は連携会員による推薦その他の情報に基づき、選考委員会が候補者名簿を作成。総会の承認を得て、会員の候補者を内閣総理大臣に推薦。（会則第８条第１項～第３項） 内閣総理大臣が任命。（法第７条第２項） 特別職の国家公務員（非常勤）	６年 （法第７条第３項） 補欠の会員は前任者の残任期間（法第７条第４項）	再任不可 （法第７条第５項、附則第６条第３項） 補欠の会員は１回に限り再任可（法第７条第５項ただし書）	70歳	会員候補者・連携会員候補者合わせて５人以内、そのうち会員候補者は２人以内（内規第６条第４項）	会員・連携会員合わせて約2,200名の執行役員的な位置付けとして日本学術会議の運営に携わる。 したがって、総会や部を構成し、運営に関わる事項の審議・決定を行う。 （機能別委員会及び分野別委員会の委員長が会員に限られているのもその趣旨による。）
一般の連携会員 （注１） （法第１５条、令第１条第１項、会則第７条第２項）	会員と連携して日本学術会議の職務の一部を行う。（法第１５条第1項） 委員会及び分科会等を組織。（法第１５条の２） 【機能別及び分野別委員会の委員長になることはできない。（細則別表第２及び内規第１０条）】	会員又は連携会員による推薦その他の情報に基づき、選考委員会が候補者名簿を作成。 幹事会が候補者を決定。（会則第８条第１項、第２項、第４項） 会長が任命。（法第１５条第２項） 一般職の国家公務員（非常勤）	６年 （令第１条第１項） ６年未満の必要な期間を定めることも可 （会則第７条第２項）	２回まで再任可 （任命時点で７０歳以上は、当該任期限り） （会則第１２条第１項）	ー	会員候補者・連携会員候補者合わせて５人以内、そのうち会員候補者は２人以内（内規第６条第４項）	委員会及びその分科会等の委員として、また、国際活動において、会員と連携し一体となって活動を行う。
特任の連携会員 （注１） （法第１５条、令第１条第１項、会則第７条第１項）	国際業務又は委員会（機能別委員会本体を除く。）の特定の専門的事項の審議に参画。 【国際学術団体の役員の任期中、課題別委員会の設置期間、又は常置の委員会（注２）及びその分科会等では特定の専門的事項の審議が行われている期間、必要な期間任命】 （会則第７条第１項）	委員会の委員に委嘱すべき者を特任の連携会員候補者として、別に定めのある場合を除き、原則として各部が幹事会に推薦。 幹事会が候補者を決定。（会則第８条第５項） 会長が任命。（法第１５条第２項）	３年以下 （会則第７条第１項）	再任の制限なし （会則第１２条第３項）	ー	なし （会則第８条第１項）	会員及び一般の連携会員のみで担うことの困難な専門的事項の審議や国際活動に専門委員的に参画するため、必要な任期に限って任命される。

（注１）「一般の連携会員」、「特任の連携会員」等の名称は便宜上のもの。
（注２）「常置の委員会」とは、機能別委員会及び分野別委員会を指す。なお、この他に、課題別委員会等を総称して「臨時の委員会」と呼んでいる。

別紙３

推薦・選考に当たっての現会員及び現連携会員の扱い

現会員及び現連携会員は、今回の推薦・選考に当たっては、次のとおり取り扱うこととしており、今回の推薦の対象からは外れております。

１．第２１・２２期会員（平成２６年９月末任期満了となる会員）

「定年又は任期満了により退任する会員の連携会員への就任について」（平成１８年６月２２日第１８回幹事会申合せ）により、自動的に連携会員の候補者の選考の対象者となりますので、**別途、就任意思の確認及び現在の本人情報（推薦書の記載項目のうち候補者情報に係る項目とする。以下同じ。）を求めることとなります。**

※会員への再任は不可。

ただし、補欠の会員は１回に限り再任されることができるので、年齢により、次期の会員又は連携会員の候補者の選考対象となる。会員候補者は、６年の任期を務められる者（発令時に６４歳未満（昭和２５年１０月２日生まれ以降）の者）が望ましいが、原則として、少なくとも１期（３年）以上在任できる者（発令時に６７歳未満（昭和２２年１０月２日生まれ以降）の者）を対象とする。

２．第２２・２３期会員（平成２９年９月末任期満了となる会員）

会員としてそのまま平成２９年９月末まで継続することとなります。

３．第２１・２２期連携会員（平成２６年９月末任期満了となる連携会員）

選考委員会での取扱いにより、自動的に会員及び連携会員の候補者の選考の対象者となりますので、**別途、就任意思の確認及び現在の本人情報を求めることとなります。**

なお、会員及び連携会員に選出されなかった場合は、平成２６年９月末をもって任期満了となります。

※会員候補者は、６年の任期を務められる者（発令時に６４歳未満（昭和２５年１０月２日生まれ以降）の者）が望ましいが、原則として、少なくとも１期（３年）以上在任できる者（発令時に６７歳未満（昭和２２年１０月２日生まれ以降）の者）を対象とする。

※連携会員への再任は２回まで可。

ただし、最初の任命時点で７０歳以上であった者は今期限り。

４．第２２・２３期連携会員（平成２９年９月末任期満了となる連携会員）

第２０・２１期会員経験者を除き、選考委員会での取扱いにより、自動的に会員候補者の選考の対象者となりますので、**別途、就任意思の確認及び現在の**

本人情報を求めることとなります。

なお、会員に選出されなかった場合は、連携会員としてそのまま平成２９年９月末まで継続することとなります。

※会員候補者は、６年の任期を務められる者（発令時に６４歳未満（昭和２５年１０月２日生まれ以降）の者）が望ましいが、原則として、少なくとも１期（３年）以上在任できる者（発令時に６７歳未満（昭和２２年１０月２日生まれ以降）の者）を対象とする。

※日本学術会議法第７条第５項において、「会員は、再任されることができない」と規定されていることから、第２０・２１期会員経験者は、会員候補者となることができない。

日本学術会議会員候補者･連携会員候補者推薦書

別紙４

１．推薦者が記入する項目

… 必須入力項目です

あなた（推薦者）の氏名

候補者が所属するのに適切と考える分野別委員会　※ドロップダウンリストから選択してください。

委員会が適切である

候補者の推薦区分　※[会員][連携会員] から選択してください。

に推薦する

推薦理由　※ 全角500文字以内で記入してください。この枠いっぱいでほぼ500文字です。　（参考）現在、約 0 文字です。

２．候補者が記入する項目

… 必須入力項目です

… どれかひとつは入力してください

＜ 姓 ＞　＜ 名 ＞

氏名：

ふりがな：　※全角ひらがな

性別：　※[男][女]から選択してください。

生年月日：　就任時　歳（自動計算）

半角で、西暦4桁／月／日 形式で入力してください。

戸籍名：

ふりがな：　※全角ひらがな

※通常使用している氏名と戸籍名が異なる場合のみ記入してください。〈姓〉〈名〉のどちらかが異なる場合でも、〈姓〉〈名〉の両方を入力してください。

候補者の日本学術会議での現職／非現職区分

である

勤務先名：

勤務先での職名：

＜ 自宅 ＞

郵便番号：　※ハイフン区切り半角数字

都道府県：

所在地（市区町村以下）：

建物等名：

電話番号：　※ハイフン区切り半角数字

FAX番号：　※ハイフン区切り半角数字

E-mail：

＜ 勤務先 ＞　※特定の勤務先がない場合は、自宅住所を記入してください。

郵便番号：　※ハイフン区切り半角数字

都道府県：

所在地（市区町村以下）：

建物等名：

電話番号：　※ハイフン区切り半角数字

内線番号：

FAX番号：　※ハイフン区切り半角数字

E-mail：

※自宅又は勤務先の「電話番号」「FAX番号」「E-mail」のうち、確実に連絡が取れるものを選んで入力してください。

優先する連絡先：　に連絡する　※[自宅][勤務先]から選択してください。

＜ 主要な学歴および学位を３件以内で記入してください ＞

	年	月	学歴･学位の内容
学歴･学位１：			
学歴･学位２：			
学歴･学位３：			

※西暦4桁（半角数字）　※1～12の半角数字

＜ 主要な職歴を現職から順に遡って７件以内で記入してください ＞

	年	月	職歴の内容
職歴１　：			
職歴２　：			
職歴３　：			
職歴４　：			
職歴５　：			
職歴６　：			
職歴７　：			

※西暦4桁（半角数字）　※1～12の半角数字

現職名･名簿記載職名：

※ こちらに記入した内容が、名簿記載上の職名になります。

＜ 専門分野（［科学研究費助成事業（科研費）］の細目名の中から相当する細目番号）を３件以内で入力してください ＞
（細目番号は「科研費細目表」シート参照）

※科研費を受け取っていない場合でも、該当すると思われる専門分野を入力してください。

	〈細目番号〉	＜ 細目名 ＞	
専門分野(科研費細目名) １：			※ #N/A と表示された場合は〈細目番号〉が誤りです。
専門分野(科研費細目名) ２：			※ #N/A と表示された場合は〈細目番号〉が誤りです。
専門分野(科研費細目名) ３：			※ #N/A と表示された場合は〈細目番号〉が誤りです。

＜ 主要な研究内容を３件以内で記入してください ＞

研究内容１：

研究内容２：

研究内容３：

＜ 所属している国内の学会の名前を３件以内で記入してください ＞

国内所属学会名１：

国内所属学会名２：

国内所属学会名３：

＜ 所属している海外の学会の名前を３件以内で記入してください ＞

国際所属学会名１：

国際所属学会名２：

国際所属学会名３：

＜ 主要な学術論文、著書、特許等の学術的業績を５件以内で記入してください ＞

業績１：　　※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名又は発明者名：	
標題、書名又は産業財産権の名称：	
雑誌名、出版社又は会議名、開催場所等：	
発行年、開催年又は取得年：	※西暦4桁（半角数字）

業績２：　　※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名又は発明者名：	
標題、書名又は産業財産権の名称：	
雑誌名、出版社又は会議名、開催場所等：	
発行年、開催年又は取得年：	※西暦4桁（半角数字）

業績３：　　※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名又は発明者名：	
標題、書名又は産業財産権の名称：	
雑誌名、出版社又は会議名、開催場所等：	
発行年、開催年又は取得年：	※西暦4桁（半角数字）

業績４：　　※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名又は発明者名：	
標題、書名又は産業財産権の名称：	
雑誌名、出版社又は会議名、開催場所等：	
発行年、開催年又は取得年：	※西暦4桁（半角数字）

業績５：　　※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名又は発明者名：	
標題、書名又は産業財産権の名称：	
雑誌名、出版社又は会議名、開催場所等：	
発行年、開催年又は取得年：	※西暦4桁（半角数字）

＜ 主要な受賞歴を３件以内で記入してください ＞

	受賞年	賞名	授賞機関
受賞歴１：			
受賞歴２：			
受賞歴３：			

※西暦4桁（半角数字）

★候補者は、入力漏れなどがないか内容をご確認の上、このファイルを保存して、推薦者に返送してください。

★推薦者は、候補者から返送されたファイルをご確認の上、日本学術会議事務局企画課選考担当まで送付してください。

注1）ファイル名は、推薦者がわかるように推薦者の「氏名」を表示してください。　【例】23senkou（日学太郎）

注2）複数のファイルを同時に送付される場合は、異なるファイル名にしてください。　【例】23senkou（日学太郎）１
23senkou（日学太郎）２

日本学術会議会員候補者･連携会員候補者推薦書

入力例

１．推薦者が記入する項目

（黄色の欄）… 必須入力項目です

あなた（推薦者）の氏名

日学　太郎

候補者が所属するのに適切と考える分野別委員会　※ドロップダウンリストから選択してください。

臨床医学　委員会が適切である

候補者の推薦区分　※[会員][連携会員] から選択してください。

会員　に推薦する

推薦理由　※ 全角500文字以内で記入してください。この枠いっぱいでほぼ500文字です。　（参考）現在、約 391 文字です。

乃木坂次郎先生は、〇〇学の領域で活躍してこられた臨床医であり、研究者です。先生は、医学の領域にとどまらず、〇〇〇。

２．候補者が記入する項目

（黄色の欄）… 必須入力項目です
（桃色の欄）… どれかひとつは入力してください

	＜ 姓 ＞	＜ 名 ＞	
氏名：	乃木坂	次郎	
ふりがな：	のぎざか	じろう	※全角ひらがな

性別：男　※[男][女]から選択してください。

生年月日：1952/4/10　就任時 62 歳（自動計算）

半角で、西暦4桁／月／日 形式で入力してください。

戸籍名：			
ふりがな：			※全角ひらがな

※通常使用している氏名と戸籍名が異なる場合のみ記入してください。 〈姓〉〈名〉のどちらかが異なる場合でも、〈姓〉〈名〉の両方を入力してください。

候補者の日本学術会議での現職／非現職区分

非現職　である

勤務先名：〇〇大学〇〇学部〇〇学科

勤務先での職名：教授

＜ 自宅 ＞		＜ 勤務先 ＞ ※特定の勤務先がない場合は、自宅住所を記入してください。	
郵便番号：	1**-**** ※ハイフン区切り半角数字	郵便番号：	1**-**** ※ハイフン区切り半角数字
都道府県：	東京都	都道府県：	東京都
所在地（市区町村以下）：	〇〇区△△が丘＊－＊－＊	所在地（市区町村以下）：	△△区××町１－１－１
建物等名：		建物等名：	〇〇大学〇〇キャンパス
電話番号：	03-3***-**** ※ハイフン区切り半角数字	電話番号：	03-3***-**** ※ハイフン区切り半角数字
		内線番号：	
FAX番号：	03-3***-**** ※ハイフン区切り半角数字	FAX番号：	03-3***-**** ※ハイフン区切り半角数字
E-mail：		E-mail：	xxx.nogizaka@xxx.ac.jp

※自宅又は勤務先の「電話番号」「FAX番号」「E-mail」のうち、確実に連絡が取れるものを選んで入力してください。

優先する連絡先：勤務先　に連絡する　※[自宅][勤務先]から選択してください。

＜ 主要な学歴および学位を３件以内で記入してください ＞

	年	月	学歴･学位の内容
学歴･学位１：	19xx	3	○○大学医学部医学科　卒業
学歴･学位２：			
学歴･学位３：			

※西暦4桁（半角数字）　※1～12の半角数字

＜ 主要な職歴を現職から順に遡って７件以内で記入してください ＞

	年	月	職歴の内容
職歴１：	20xx	4	○○大学○○学部○○学科教授
職歴２：	20xx	4	△△大学△△学部長
職歴３：	20xx	4	△△大学△△学部△△学科教授
職歴４：	20xx	4	○○研究所長
職歴５：	19xx	10	××大学附属××病院長
職歴６：	19xx	4	□□大学□□部教授
職歴７：	19xx	4	○○大学△△系××科教授

※西暦4桁（半角数字）　※1～12の半角数字

現職名･名簿記載職名：○○大学○○学部○○学科教授

※ こちらに記入した内容が、名簿記載上の職名になります。

＜ 専門分野（［科学研究費助成事業（科研費）］の細目名の中から相当する細目番号）を３件以内で入力してください ＞
（細目番号は「科研費細目表」シート参照）

※科研費を受け取っていない場合でも、該当すると思われる専門分野を入力してください。

	〈細目番号〉	＜ 細目名 ＞	
専門分野（科研費細目名）１：	8206	神経内科学	※ #N/A と表示された場合は〈細目番号〉が誤りです。
専門分野（科研費細目名）２：	6203	神経化学･神経薬理学	※ #N/A と表示された場合は〈細目番号〉が誤りです。
専門分野（科研費細目名）３：	6901	自然人類学	※ #N/A と表示された場合は〈細目番号〉が誤りです。

＜ 主要な研究内容を３件以内で記入してください ＞

研究内容１：○○○

研究内容２：△△

研究内容３：□□□

＜ 所属している国内の学会の名前を３件以内で記入してください ＞

国内所属学会名１：○○学会
国内所属学会名２：△△学会
国内所属学会名３：□□学会

＜ 所属している海外の学会の名前を３件以内で記入してください ＞

国際所属学会名１：Member of xxx
国際所属学会名２：Member of yyy
国際所属学会名３：Member of zzz

＜ 主要な学術論文、著書、特許等の学術的業績を５件以内で記入してください ＞

業績１：学術論文　※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名：	tyosyamei
論文標題：	hyoudai
雑誌名、巻号、ページ又は会議名、開催場所等：	page
発行年又は会議開催年：	20xx　※西暦4桁（半角数字）

業績２：学術論文　※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名：	tyosyamei
論文標題：	hyoudai
雑誌名、巻号、ページ又は会議名、開催場所等：	page
発行年又は会議開催年：	19xx　※西暦4桁（半角数字）

業績３：産業財産権　※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

発明者名：	乃木坂次郎
産業財産権の名称：	○○に関する発明
産業財産権の種類、番号：	特許第211****号
取得年：	19xx　※西暦4桁（半角数字）

業績４：著書　※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名：	乃木坂次郎
書名：	○○○
出版社：	○○出版社
発行年：	19xx　※西暦4桁（半角数字）

業績５：　※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名又は発明者名：	
標題、書名又は産業財産権の名称：	
雑誌名、出版社又は会議名、開催場所等：	
発行年、開催年又は取得年：	※西暦4桁（半角数字）

＜ 主要な受賞歴を３件以内で記入してください ＞

	受賞年	賞名	授賞機関
受賞歴１：	20xx	○○○○	○○財団
受賞歴２：	19xx	●●●●	●●財団
受賞歴３：			

※西暦4桁（半角数字）

★候補者は、入力漏れなどがないか内容をご確認の上、このファイルを保存して、推薦者に返送してください。

★推薦者は、候補者から返送されたファイルをご確認の上、日本学術会議事務局企画課選考担当まで送付してください。

注1）ファイル名は、推薦者がわかるように推薦者の「氏名」を表示してください。　【例】 23senkou（日学太郎）

注2）複数のファイルを同時に送付される場合は、異なるファイル名にしてください。　【例】 23senkou（日学太郎） 1
23senkou（日学太郎） 2

平成25年度科学研究費助成事業（科研費）細目表

出典：(独)日本学術振興会ホームページ

4桁の番号をコピーして、専門分野の「細目番号」欄に貼り付けてください。

↓

分科CD	分　科	細目番号	細　目　名
10	情報学基礎	1001	情報学基礎理論
10	情報学基礎	1002	数理情報学
10	情報学基礎	1003	統計科学
11	計算基盤	1101	計算機システム
11	計算基盤	1102	ソフトウエア
11	計算基盤	1103	情報ネットワーク
11	計算基盤	1104	マルチメディア･データベース
11	計算基盤	1105	高性能計算
11	計算基盤	1106	情報セキュリティ
12	人間情報学	1201	認知科学
12	人間情報学	1202	知覚情報処理
12	人間情報学	1203	ヒューマンインタフェース・インタラクション
12	人間情報学	1204	知能情報学
12	人間情報学	1205	ソフトコンピューティング
12	人間情報学	1206	知能ロボティクス
12	人間情報学	1207	感性情報学
13	情報学フロンティア	1301	生命・健康・医療情報学
13	情報学フロンティア	1302	ウェブ情報学・サービス情報学
13	情報学フロンティア	1303	図書館情報学･人文社会情報学
13	情報学フロンティア	1304	学習支援システム
13	情報学フロンティア	1305	エンタテインメント・ゲーム情報学
14	環境解析学	1401	環境動態解析
14	環境解析学	1402	放射線･化学物質影響科学
14	環境解析学	1403	環境影響評価
15	環境保全学	1501	環境技術･環境負荷低減
15	環境保全学	1502	環境モデリング・保全修復技術
15	環境保全学	1503	環境材料・リサイクル
15	環境保全学	1504	環境リスク制御・評価
16	環境創成学	1601	自然共生システム
16	環境創成学	1602	持続可能システム
16	環境創成学	1603	環境政策・環境社会システム
16	デザイン学	1651	デザイン学
17	生活科学	1701	家政・生活学一般
17	生活科学	1702	衣・住生活学
17	生活科学	1703	食生活学
18	科学教育･教育工学	1801	科学教育
18	科学教育･教育工学	1802	教育工学
19	科学社会学･科学技術史	1901	科学社会学･科学技術史
20	文化財科学・博物館学	2001	文化財科学・博物館学
21	地理学	2101	地理学
22	社会･安全システム科学	2201	社会システム工学･安全システム
22	社会･安全システム科学	2202	自然災害科学・防災学
23	人間医工学	2301	生体医工学･生体材料学
23	人間医工学	2302	医用システム
23	人間医工学	2303	医療技術評価学
23	人間医工学	2304	リハビリテーション科学･福祉工学
24	健康･スポーツ科学	2401	身体教育学
24	健康･スポーツ科学	2402	スポーツ科学

分科CD	分　科	細目番号	細　目　名
24	健康･スポーツ科学	2403	応用健康科学
24	子ども学	2451	子ども学（子ども環境学）
25	生体分子科学	2501	生物分子化学
25	生体分子科学	2502	ケミカルバイオロジー
26	脳科学	2601	基盤・社会脳科学
26	脳科学	2602	脳計測科学
27	地域研究	2701	地域研究
28	ジェンダー	2801	ジェンダー
29	哲学	2901	哲学･倫理学
29	哲学	2902	中国哲学・印度哲学・仏教学
29	哲学	2903	宗教学
29	哲学	2904	思想史
30	芸術学	3001	美学･芸術諸学
30	芸術学	3002	美術史
30	芸術学	3003	芸術一般
31	文学	3101	日本文学
31	文学	3102	英米･英語圏文学
31	文学	3103	ヨーロッパ文学
31	文学	3104	中国文学
31	文学	3105	文学一般
32	言語学	3201	言語学
32	言語学	3202	日本語学
32	言語学	3203	英語学
32	言語学	3204	日本語教育
32	言語学	3205	外国語教育
33	史学	3301	史学一般
33	史学	3302	日本史
33	史学	3303	アジア史・アフリカ史
33	史学	3304	ヨーロッパ史・アメリカ史
33	史学	3305	考古学
34	人文地理学	3401	人文地理学
35	文化人類学	3501	文化人類学･民俗学
36	法学	3601	基礎法学
36	法学	3602	公法学
36	法学	3603	国際法学
36	法学	3604	社会法学
36	法学	3605	刑事法学
36	法学	3606	民事法学
36	法学	3607	新領域法学
37	政治学	3701	政治学
37	政治学	3702	国際関係論
38	経済学	3801	理論経済学
38	経済学	3802	経済学説･経済思想
38	経済学	3803	経済統計
38	経済学	3804	経済政策
38	経済学	3805	財政･公共経済
38	経済学	3806	金融・ファイナンス
38	経済学	3807	経済史
39	経営学	3901	経営学
39	経営学	3902	商学
39	経営学	3903	会計学
40	社会学	4001	社会学
40	社会学	4002	社会福祉学
41	心理学	4101	社会心理学
41	心理学	4102	教育心理学

分科CD	分　科	細目番号	細　目　名
41	心理学	4103	臨床心理学
41	心理学	4104	実験心理学
42	教育学	4201	教育学
42	教育学	4202	教育社会学
42	教育学	4203	教科教育学
42	教育学	4204	特別支援教育
43	ナノ･マイクロ科学	4301	ナノ構造化学
43	ナノ･マイクロ科学	4302	ナノ構造物理
43	ナノ･マイクロ科学	4303	ナノ材料化学
43	ナノ･マイクロ科学	4304	ナノ材料工学
43	ナノ･マイクロ科学	4305	ナノバイオサイエンス
43	ナノ･マイクロ科学	4306	ナノマイクロシステム
44	応用物理学	4401	応用物性
44	応用物理学	4402	結晶工学
44	応用物理学	4403	薄膜・表面界面物性
44	応用物理学	4404	光工学・光量子科学
44	応用物理学	4405	プラズマエレクトロニクス
44	応用物理学	4406	応用物理学一般
45	量子ビーム科学	4501	量子ビーム科学
46	計算科学	4601	計算科学
47	数学	4701	代数学
47	数学	4702	幾何学
47	数学	4703	解析学基礎
47	数学	4704	数学解析
47	数学	4705	数学基礎・応用数学
48	天文学	4801	天文学
49	物理学	4901	素粒子･原子核･宇宙線･宇宙物理
49	物理学	4902	物性Ⅰ
49	物理学	4903	物性Ⅱ
49	物理学	4904	数理物理･物性基礎
49	物理学	4905	原子･分子･量子エレクトロニクス
49	物理学	4906	生物物理･化学物理・ソフトマターの物理
50	地球惑星科学	5001	固体地球惑星物理学
50	地球惑星科学	5002	気象･海洋物理･陸水学
50	地球惑星科学	5003	超高層物理学
50	地球惑星科学	5004	地質学
50	地球惑星科学	5005	層位･古生物学
50	地球惑星科学	5006	岩石･鉱物･鉱床学
50	地球惑星科学	5007	地球宇宙化学
51	プラズマ科学	5101	プラズマ科学
52	基礎化学	5201	物理化学
52	基礎化学	5202	有機化学
52	基礎化学	5203	無機化学
53	複合化学	5301	機能物性化学
53	複合化学	5302	合成化学
53	複合化学	5303	高分子化学
53	複合化学	5304	分析化学
53	複合化学	5305	生体関連化学
53	複合化学	5306	グリーン・環境化学
53	複合化学	5307	エネルギー関連化学
54	材料化学	5401	有機・ハイブリッド材料
54	材料化学	5402	高分子・繊維材料
54	材料化学	5403	無機工業材料
54	材料化学	5404	デバイス関連化学
55	機械工学	5501	機械材料･材料力学

分科CD	分　科	細目番号	細　目　名
55	機械工学	5502	生産工学･加工学
55	機械工学	5503	設計工学･機械機能要素･トライボロジー
55	機械工学	5504	流体工学
55	機械工学	5505	熱工学
55	機械工学	5506	機械力学･制御
55	機械工学	5507	知能機械学･機械システム
56	電気電子工学	5601	電力工学･電力変換･電気機器
56	電気電子工学	5602	電子･電気材料工学
56	電気電子工学	5603	電子デバイス･電子機器
56	電気電子工学	5604	通信･ネットワーク工学
56	電気電子工学	5605	計測工学
56	電気電子工学	5606	制御・システム工学
57	土木工学	5701	土木材料･施工･建設マネジメント
57	土木工学	5702	構造工学･地震工学･維持管理工学
57	土木工学	5703	地盤工学
57	土木工学	5704	水工学
57	土木工学	5705	土木計画学･交通工学
57	土木工学	5706	土木環境システム
58	建築学	5801	建築構造･材料
58	建築学	5802	建築環境･設備
58	建築学	5803	都市計画･建築計画
58	建築学	5804	建築史･意匠
59	材料工学	5901	金属物性・材料
59	材料工学	5902	無機材料･物性
59	材料工学	5903	複合材料･表界面工学
59	材料工学	5904	構造･機能材料
59	材料工学	5905	材料加工･組織制御工学
59	材料工学	5906	金属・資源生産工学
60	プロセス・化学工学	6001	化工物性･移動操作･単位操作
60	プロセス・化学工学	6002	反応工学･プロセスシステム
60	プロセス・化学工学	6003	触媒･資源化学プロセス
60	プロセス・化学工学	6004	生物機能･バイオプロセス
61	総合工学	6101	航空宇宙工学
61	総合工学	6102	船舶海洋工学
61	総合工学	6103	地球･資源システム工学
61	総合工学	6104	核融合学
61	総合工学	6105	原子力学
61	総合工学	6106	エネルギー学
62	神経科学	6201	神経生理学・神経科学一般
62	神経科学	6202	神経解剖学･神経病理学
62	神経科学	6203	神経化学･神経薬理学
63	実験動物学	6301	実験動物学
64	腫瘍学	6401	腫瘍生物学
64	腫瘍学	6402	腫瘍診断学
64	腫瘍学	6403	腫瘍治療学
65	ゲノム科学	6501	ゲノム生物学
65	ゲノム科学	6502	ゲノム医科学
65	ゲノム科学	6503	システムゲノム科学
66	生物資源保全学	6601	生物資源保全学
67	生物科学	6701	分子生物学
67	生物科学	6702	構造生物化学
67	生物科学	6703	機能生物化学
67	生物科学	6704	生物物理学
67	生物科学	6705	細胞生物学
67	生物科学	6706	発生生物学

分科CD	分　科	細目番号	細　目　名
68	基礎生物学	6801	植物分子･生理科学
68	基礎生物学	6802	形態･構造
68	基礎生物学	6803	動物生理･行動
68	基礎生物学	6804	遺伝・染色体動態
68	基礎生物学	6805	進化生物学
68	基礎生物学	6806	生物多様性･分類
68	基礎生物学	6807	生態･環境
69	人類学	6901	自然人類学
69	人類学	6902	応用人類学
70	生産環境農学	7001	遺伝育種科学
70	生産環境農学	7002	作物生産科学
70	生産環境農学	7003	園芸科学
70	生産環境農学	7004	植物保護科学
71	農芸化学	7101	植物栄養学･土壌学
71	農芸化学	7102	応用微生物学
71	農芸化学	7103	応用生物化学
71	農芸化学	7104	生物有機化学
71	農芸化学	7105	食品科学
72	森林圏科学	7201	森林科学
72	森林圏科学	7202	木質科学
73	水圏応用科学	7301	水圏生産科学
73	水圏応用科学	7302	水圏生命科学
74	社会経済農学	7401	経営・経済農学
74	社会経済農学	7402	社会・開発農学
75	農業工学	7501	地域環境工学・計画学
75	農業工学	7502	農業環境・情報工学
76	動物生命科学	7601	動物生産科学
76	動物生命科学	7602	獣医学
76	動物生命科学	7603	統合動物科学
77	境界農学	7701	昆虫科学
77	境界農学	7702	環境農学（含ランドスケープ科学）
77	境界農学	7703	応用分子細胞生物学
78	薬学	7801	化学系薬学
78	薬学	7802	物理系薬学
78	薬学	7803	生物系薬学
78	薬学	7804	薬理系薬学
78	薬学	7805	天然資源系薬学
78	薬学	7806	創薬化学
78	薬学	7807	環境・衛生系薬学
78	薬学	7808	医療系薬学
79	基礎医学	7901	解剖学一般（含組織学･発生学）
79	基礎医学	7902	生理学一般
79	基礎医学	7903	環境生理学（含体力医学･栄養生理学）
79	基礎医学	7904	薬理学一般
79	基礎医学	7905	医化学一般
79	基礎医学	7906	病態医化学
79	基礎医学	7907	人類遺伝学
79	基礎医学	7908	人体病理学
79	基礎医学	7909	実験病理学
79	基礎医学	7910	寄生虫学（含衛生動物学）
79	基礎医学	7911	細菌学（含真菌学）
79	基礎医学	7912	ウイルス学
79	基礎医学	7913	免疫学
80	境界医学	8001	医療社会学
80	境界医学	8002	応用薬理学

分科CD	分　科	細目番号	細　目　名
80	境界医学	8003	病態検査学
80	境界医学	8004	疼痛学
81	社会医学	8101	疫学・予防医学
81	社会医学	8102	衛生学・公衆衛生学
81	社会医学	8103	病院・医療管理学
81	社会医学	8104	法医学
82	内科系臨床医学	8201	内科学一般（含心身医学）
82	内科系臨床医学	8202	消化器内科学
82	内科系臨床医学	8203	循環器内科学
82	内科系臨床医学	8204	呼吸器内科学
82	内科系臨床医学	8205	腎臓内科学
82	内科系臨床医学	8206	神経内科学
82	内科系臨床医学	8207	代謝学
82	内科系臨床医学	8208	内分泌学
82	内科系臨床医学	8209	血液内科学
82	内科系臨床医学	8210	膠原病･アレルギー内科学
82	内科系臨床医学	8211	感染症内科学
82	内科系臨床医学	8212	小児科学
82	内科系臨床医学	8213	胎児･新生児医学
82	内科系臨床医学	8214	皮膚科学
82	内科系臨床医学	8215	精神神経科学
82	内科系臨床医学	8216	放射線科学
83	外科系臨床医学	8301	外科学一般
83	外科系臨床医学	8302	消化器外科学
83	外科系臨床医学	8303	心臓血管外科学
83	外科系臨床医学	8304	呼吸器外科学
83	外科系臨床医学	8305	脳神経外科学
83	外科系臨床医学	8306	整形外科学
83	外科系臨床医学	8307	麻酔科学
83	外科系臨床医学	8308	泌尿器科学
83	外科系臨床医学	8309	産婦人科学
83	外科系臨床医学	8310	耳鼻咽喉科学
83	外科系臨床医学	8311	眼科学
83	外科系臨床医学	8312	小児外科学
83	外科系臨床医学	8313	形成外科学
83	外科系臨床医学	8314	救急医学
84	歯学	8401	形態系基礎歯科学
84	歯学	8402	機能系基礎歯科学
84	歯学	8403	病態科学系歯学･歯科放射線学
84	歯学	8404	保存治療系歯学
84	歯学	8405	補綴・理工系歯学
84	歯学	8406	歯科医用工学･再生歯学
84	歯学	8407	外科系歯学
84	歯学	8408	矯正･小児系歯学
84	歯学	8409	歯周治療系歯学
84	歯学	8410	社会系歯学
85	看護学	8501	基礎看護学
85	看護学	8502	臨床看護学
85	看護学	8503	生涯発達看護学
85	看護学	8504	高齢看護学
85	看護学	8505	地域看護学

別紙５

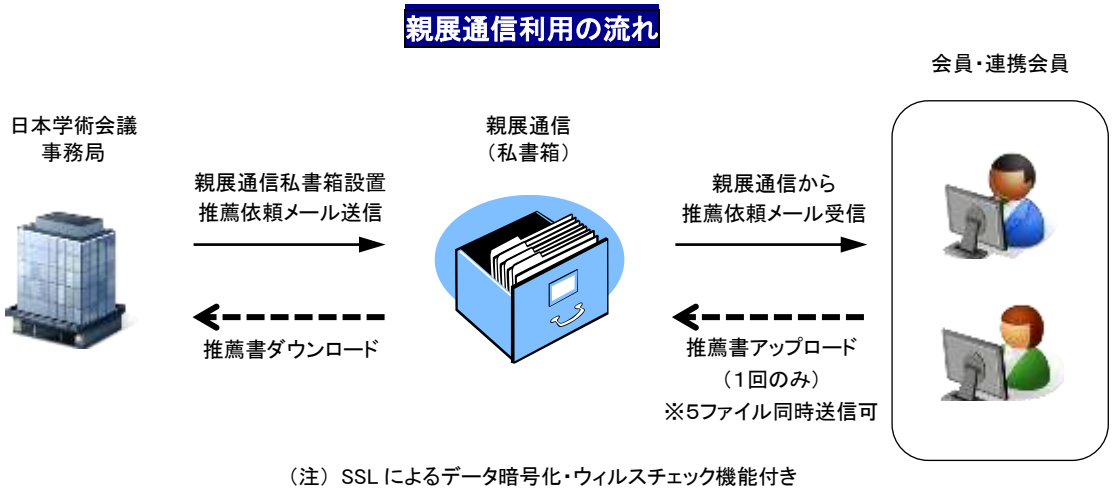
第 23-24 期会員・連携会員候補者の推薦書の提出方法

平成 25 年 12 月
日本学術会議事務局

推薦書の提出は、「親展通信」（メール通信サービス）を利用して行います。

「親展通信」からメールを受信したら、メールの内容にしたがって操作し、期限までに推薦書を提出してください。

推薦書は、日本学術会議ホームページ（選考委員会のページ*）からダウンロードし、あらかじめ作成しておいてください。　＊ http://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/senko/index.html



(1) 平成 26 年 1 月 29 日（水）に、「親展通信」からメールを受信する。
(2) アップロード用の「親展パスワード」を設定する。
(3) 「アップロード方法連絡」メールを受信する。
(4) 親展パスワードを使ってログインする。
(5) 平成 26 年 2 月 2 日（日）までに、推薦書（Excel ファイル）をアップロードする。

〈主な注意点〉

- 「親展パスワード」の設定は、メールを受信してから 120 時間以内に行ってください。
- 設定した「親展パスワード」は、再発行及び変更ができませんので、アップロード完了まで忘れないでください。
- アップロードは 1 回限りです。「アップロード期限」までに、すべての推薦書ファイルを一度にアップロードしてください。
- 「アップロード期限」を過ぎると、親展パスワードを設定していてもファイルをアップロードすることはできません。
- ログイン中、15 分以上操作がない場合は、セキュリティ保護のため、入力情報は無効になりますので、最初からやり直してください。

推薦書の提出方法

(1) 「親展通信」からメールを受信する。

① 平成 26 年 1 月 29 日（水）に、親展通信（株式会社ジャストシステム）から「私書箱へのファイルのアップロード依頼」の通知メールが送信されます。

② 通知メールに記載された URL をクリックし、「親展パスワード」を設定します。

【通知メール例】

Subject: ［親展通信］〈依頼〉第 23 期会員・連携会員候補者の推薦について
From: shinten_notice@justsystems.com
To: nichigaku.taro@***.com

［親展通信］〈依頼〉第 23 期会員・連携会員候補者の推薦について
---

nichigaku.taro@***.com 様

［親展通信］にて、日本学術会議事務局 様から、私書箱へファイルのアップロードの依頼がありました。
まず、次の URL からアップロード用の親展パスワードを設定してください。

https://www.shintentsushin.com/guesttool/rcvinputguestpwd?rbid=fPOXsiktaFfif0JT1Feo6ep8L5PoMlQx&gid=fPOXsiktaFd7X3uhAhxtL2P%2FC%2FJDDOPlNOcLrffNHko%3D&req=1

※上記アドレス(URL)をクリックしても正しく表示されない場合は、
2 行目以降にあるアドレスの文字もコピーし、
ブラウザのアドレスを指定する欄に貼り付けて、つなげてお使いください。

クリック

日本学術会議会員・連携会員の皆様
日本学術会議ホームページから推薦書様式をダウンロードして、本メール記載の「アップロード期限」までに、推薦書をアップロードしてください。
日本学術会議事務局企画課

送信者：
日本学術会議事務局 様（*****@cao.go.jp）
アップロード期限：
2014-02-03 09:21
私書箱案件名：
第 23 期推薦

この期限までに親展パスワードを設定し、アップロードする。

（注１）１月 29 日（水）にメールが送信されない場合は、事務局までご連絡ください。

（注２）本紙掲載の画面はテスト時の画面のため、アップロード期限や文章などは実際の画面と異なります（以下同じ）。

(2) アップロード用の「親展パスワード」を設定する。

① この画面で、アップロード用の親展パスワード（ご自身用）を設定します。

② パスワードは、半角英数字「8 文字以上 15 文字以内」で、数字と、アルファベット・記号を組み合わせて設定してください。

（組み合わせ例）　数字 と アルファベット
　　数字 と 記号
　　数字 と アルファベット と 記号

③ 「パスワードの入力」、確認のための「パスワードの再入力」が終わったら、「パスワード設定」をクリックします。

（注１）「親展パスワード」の設定は、「アップロード期限」（メールを受信してから 120 時間以内）までに行ってください。

（注２）ここで設定したパスワードは、アップロード完了まで忘れないようにしてください。

④　「アップロード用親展パスワード設定の完了」画面が表示されますので、「閉じる」をクリックします。

(3) 「アップロード方法連絡」メールを受信する。

① 親展パスワードを設定すると、「私書箱へのアップロード方法連絡」メールが送信されます。

② 連絡メールに記載された URL をクリックします。

【連絡メール例】

Subject: ［親展通信］私書箱へのアップロード方法連絡
From: shinten_notice@justsystems.com
To: nichigaku.taro@***.com

［親展通信］私書箱へのアップロード方法連絡

---

nichigaku.taro@***.com 様

日本学術会議事務局 様の私書箱へファイルをアップロードするときに必要な、
アップロード用親展パスワードの設定が完了しました。
アップロードを続行するには、次の URL をクリックしてください。

https://www.shintentsushin.com/disk/rcvguestlist?errdisp=0&gid=7aOhzO8JoORsdat4iEGtTzJGqrUZkgOFNOcLrffNHko%3D&gstid=7aOhzO8JoOTL94I6j1hoSOFyEXTL%2BsmP

クリック

※上記アドレス(URL)をクリックしても正しく表示されない場合は、
　2 行目以降にあるアドレスの文字もコピーし、
　ブラウザのアドレスを指定する欄に貼り付けて、つなげてお使いください。

Web ブラウザに[親展通信]のログイン画面が表示されるので、
このメールを受信したときのメールアドレスと、さきほどご自身で設定した
親展パスワードを入力し、ログインしてください。

ログイン後、ファイルのアップロード画面が表示されます。
この画面から私書箱へファイルをアップロードしてください。

アップロード期限：
　　2014-02-03 09:21

(4) 親展パスワードを使ってログインする。

① ログイン画面で、メールアドレスと、ご自身で設定した親展パスワードを入力します。

② 入力が終わったら、「ログイン」をクリックします。

(5) 推薦書（Excel ファイル）をアップロードする。

① アップロードは 1 回限りのため、推薦書ファイルが複数ある場合は、すべての推薦書ファイルを一度にアップロードします。

② 事務局がアップロードされた旨のメールを受信した際、一目で推薦者がわかるように、「通知メール」の「見出し」欄に、ご自身のお名前を入力してください（この見出しが、メールの件名になります。）。

③ 「メッセージ」欄は空欄でかまいません。連絡事項等がある場合は、適宜入力してください。

④ 「アップロードするファイル」の「ファイル数」をリストから選択します。

⑤ 「参照」をクリックし、アップロードするファイルを選択します。

⑥ すべてのファイルを選択したら、「アップロード開始」をクリックします。

（注１）ファイル名は、推薦者がわかるように、ご自身のお名前を表示してください。

（注２）推薦書ファイルにパスワードを設定している場合は、アップロードの際、パスワードを解除してください。パスワードが設定されていると、事務局はファイルを開くことができませんので、ご協力をお願いします。

（注３）必ず、アップロード期限までにアップロードしてください。万一、アップロード期限までにアップロードできなかった場合は、事務局までご連絡ください。

(6) ログアウトする。

① アップロードが終わると、アップロードしたファイル一覧が表示されます。

② 「ログアウト」をクリックします。

ご協力ありがとうございました。

参　考

＜ アップロード簡単チェックリスト ＞

- □ 親展通信から「ファイルのアップロード依頼」のメールは届きましたか？
- □ アップロード用の「親展パスワード」を設定しましたか？
- □ 「親展パスワード」を忘れていませんか？
- □ 「アップロード期限」を覚えていますか？
- □ 推薦書のファイル名は、ご自身のお名前になっていますか？
- □ アップロード画面の「見出し」欄に、ご自身のお名前を入力されましたか？

＜ FAQ ＞

Q1	1 月 29 日（水）に、「ファイルのアップロード依頼」のメールが届かないのですが…
A	日本学術会議にご登録のメールアドレスが大学等のアドレスの場合、セキュリティ対策等により「迷惑メール」と判定される場合がありますので、大学等のシステム管理者にお問い合わせいただくか、事務局までご連絡ください。
Q2	推薦書ファイルに自分の名前を付けるのは面倒だ。
A	現会員・現連携会員の皆様からの推薦書ファイルは、アップロード期限から 120 時間以内にダウンロードしなければなりません。 相当数のファイルを短期間でダウンロードする際、同一のファイル名の場合、誤って「上書き保存」する恐れが考えられるため、このようなミスを防止するために推薦書ファイルにご氏名の表示をお願いしています。
Q3	推薦書ファイルをアップロードする際、なぜ「見出し」欄に自分の名前を入力するのか？
A	推薦書ファイルをアップロードすると、事務局にファイルがアップロードされた通知メールが届きます。「見出し」欄に入力されたものが、このメールの件名となります。 事務局では、短期間で皆様からの推薦書ファイルをダウンロードするため、一目で推薦者がわかるように「見出し」欄にご氏名の入力をお願いしています。 上記「Q2」同様、ご面倒をおかけいたしますが、ご協力をお願いします。
Q4	推薦書ファイルをアップロードしたが、事務局に届いているのか？
A	事務局がファイルをダウンロードすると、「私書箱からのダウンロードの連絡」メールが送信されますので、ご確認ください（次ページ「ダウンロード連絡メール例」参照）。 アップロード期限から 1 週間を過ぎても連絡メールが送信されない場合は、事務局までご連絡ください。
Q5	親展通信について、詳しいことが知りたい。
A	親展通信の仕組みなど詳しいことが知りたい場合は、以下のサイトをご覧ください。 ○株式会社ジャストシステム　http://www.justsystems.com/jp/services/shinten/

【ダウンロード連絡メール例】

Subject: ［親展通信］私書箱からのダウンロードの連絡
From: shinten_noticesys@justsystems.com
To: nichigaku.taro@***.com

［親展通信］私書箱からのダウンロードの連絡

---

nichigaku.taro@***.com 様

私書箱へアップロードしたファイルが、下記のとおりダウンロードされましたので、ご連絡します。

ダウンロードしたユーザー名：
内閣府日本学術会議事務局（*****@cao.go.jp）
ダウンロード日時：
2014-02-03 10:56
私書箱案件名：
第23期推薦1-2
ファイル名：
23senkou（日学太郎）１.xls
23senkou（日学太郎）２.xls
23senkou（日学太郎）３.xls
23senkou（日学太郎）４.xls
23senkou（日学太郎）５.xls
アップロード日時：
2014-02-01 19:54

本メールは[親展通信]で送信したファイルのダウンロード状況をご報告するため、
私書箱からのダウンロード時に、システムから自動的に配信されています。
このメールには返信できません。ご了承ください。

〈お問い合わせ先〉
日本学術会議事務局企画課
［TEL］03-3403-1081
［E-mail］as258@scj.go.jp

別紙６

選出時の就任意思を確認する際の説明事項

１　推薦者は、候補者に対して、以下の①から⑤までをご説明ください。

①　推薦された者が必ずしも会員又は連携会員に選出されるものではないこと。

②　日本学術会議の活動並びに会員及び連携会員の使命・役割及び位置付け
※日本学術会議ホームページ並びに本推薦依頼書の別紙２及び別紙２－別表等を参照しながら説明してください。

③　活動期間
平成２６年１０月１日から平成３２年９月３０日まで（任期６年）とし、任期中は、関係する委員会・分科会や地区会議等に所属し、審議活動や国際活動等を行うことになること。
ただし、会員は７０歳に達すると、自動的に退任となること。

④　会員候補者として推薦された者は、連携会員候補者としても推薦されたものとみなすことになること。

⑤　候補者推薦に係る情報は、選考実務の遂行、任命手続及び役割検討の目的のために使用することになること。

２　上記の説明内容を候補者に理解していただいた上で、選出された場合には就任する旨の意思の確認を行っていただき、推薦書の「２．候補者が記入する項目」への記入をお願いしてください。

別紙７

個人情報の取扱いについて

平成２６年１０月改選の会員及び連携会員の候補者の選考実務を行うに当たり、候補者の個人情報の取扱いに十分注意して、以下のような情報セキュリティ対策を講じるものとする。

記

１．情報の目的外利用の禁止

会員及び連携会員（以下「会員等」という。）は、選考実務の遂行以外の目的で、候補者に係る情報（以下「情報」という。）を作成、入手、公表又は提供してはならない。

２．情報の利用

会員等は、選考実務の遂行、任命手続及び役割検討以外の目的で、情報を利用してはならない。

３．情報の保存

① 会員等は、電磁的記録媒体に保存された情報について、適切なアクセス制御を行わなければならない。

② 会員等は、情報が保存された電磁的記録媒体を適切に管理しなければならない。

③ 会員等は、出力した情報を記載した書面を適切に管理しなければならない。

４．情報の移送

① 会員等は、候補者との間で情報を移送する場合は、適切なセキュリティ対策を講じなければならない。

② 会員等は、日本学術会議事務局に推薦書を提出する際は、情報が漏えいすることがないよう十分注意しなければならない。

５．情報の消去

会員等は、２で掲げる場合を除き、平成２６年１０月改選後、速やかに情報を消去しなければならない。

別紙８

協力学術研究団体からの候補者情報の提供について

平成２６年１０月の日本学術会議会員及び連携会員の改選においては、日本学術会議会則第３５条第４項の規定に基づき、協力学術研究団体に対し、会員又は連携会員の候補者に関する情報提供を求めることとする。その際、下記の事項を踏まえるものとする。

これは、選考委員会における審議の参考情報として用いるものであって、協力学術研究団体から直接推薦を求めるものではない。

記

１　当該情報の活用方法

協力学術研究団体から提供を受けた情報は、選考委員会限りとし、候補者の名簿を作成するための「その他の情報」（会則第８条第２項）として取り扱う。

２　候補者情報の区分

日本学術会議の会員及び連携会員としてふさわしい「優れた研究又は業績がある科学者」の情報を提供してもらう。

３　情報提供可能人数

１協力学術研究団体につき６名以内とする。なお、女性の人数については、次のとおりとする。

提供数	うち女性の数
１，２名	０名以上
３名	１名以上
４～６名	２名以上

※　第３次男女共同参画基本計画（平成 22 年 12 月 17 日閣議決定）において、「2020 年に指導的地位に女性が占める割合を少なくとも 30%程度とする目標に向けた取組を推進」していることから、３名以上の情報提供がある場合、女性の数を３割以上とすることとした。

４　協力学術研究団体から求める情報の範囲

①　氏名（漢字、ふりがな）

②　現職名

③　専門分野（科研費の細目から選択）

※より詳しい情報が必要な場合は、選考委員会（分科会を含む。）が調査を行うものとする。

５　協力学術研究団体への情報の求め方

①　会長から、協力学術研究団体の長に依頼する。

② 依頼に当たっては、あくまで「情報提供」であり、「推薦」でないことを注意喚起する。このため、協力学術研究団体は、情報提供される科学者本人の了解をとらないものとする。

③ 情報提供の主体は、協力学術研究団体とし、個人からの情報提供は認めない。

④ 候補者１名に対し複数の情報提供があっても選考過程に差異はない。

⑤ 現会員及び現連携会員は、自動的に選考の候補者となることから情報提供は不要である。

⑥ 協力学術研究団体は、提供される情報の取扱いに十分注意するとともに、外部への公表等を控えることとする。

⑦ 提出方法

内閣府共通意見等登録システム（Ｎｏｐｉシステム）を利用する。

⑧ 依頼時期

会員・連携会員が推薦を行う時期と同時期に行う。

６ 選考結果等

① 選考結果は、協力学術研究団体に対し、個別に報告しない。（発令の結果をご覧いただくことになる。）

② 協力学術研究団体からの選考に関する問合せには応じない。

③ 就任意思の確認等を行う場合は、選考委員会（分科会を含む。）が科学者本人に対し個別に行う。

(参考条文)

○日本学術会議会則（平成１７年１０月２４日日本学術会議規則第３号）（抄）

（会員及び連携会員の選考の手続）

第８条　会員及び連携会員（※特任連携会員を除く。）は、幹事会が定めるところにより、会員及び連携会員の候補者を、別に総会が定める委員会（※選考委員会）に推薦することができる。

２　前項の委員会（※選考委員会）は、前項の推薦その他の情報に基づき、会員及び連携会員の候補者の名簿を作成し、幹事会に提出する。

３～６　（略）

（日本学術会議協力学術研究団体）

第３５条　（略）

４　協力学術研究団体は、学術会議の求めに応じ、会員又は連携会員の候補者に関する情報等を提供することができる。

５～６　（略）